

StatusCard Pro かんたん操作マニュアル

お店の営業状態（営業中・準備中・定休日）を自動で切り替える看板の設定方法

このマニュアルは、ホームページにある「現在の営業状況を伝える看板（バッジ）」の時間を変更したり、急な臨時休業やスープ完売時に表示を一瞬で切り替えたりする方法を優しく解説したものです。難しい専門知識は必要ありません。

1. 普段の営業時間を入れる（Hours の設定）

普段の営業時間を入力しておけば、システムが今の時間を見て自動的に「OPEN（営業中）」や「SOON（まもなく営業）」「CLOSED（定休日）」に表示を切り替えます。

昼の部 L start（開始） / L end（終了）

お昼の営業時間を入力します。


入力のきまり 半角の英数字で、コロン「:」を入れて入力してください。

（例）昼の11時開店、14時半閉店の場合 ⇒ 開始に 11:00、終了に 14:30 と入れます。

夜の部 E start（開始） / E end（終了）

夕方や夜に再び店を開ける（2部制）場合の営業時間を入力します。

（例）夜の17時開店、21時閉店の場合 ⇒ 開始に 17:00、終了に 21:00 と入れます。

 **ラーメン屋さんへの知恵：**休憩なしの「通し営業」の場合は、夜の部の開始（E start）を空欄（何も入力しない）にしてください。自動的にお昼の時間だけで判定してくれます。

定休日 Mon～Sun（曜日別の休み設定）

お店の定休日を設定するスイッチです。お休みの曜日を「Closed（有効）」に切り替えると、その曜日は一日中自動で「定休日（CLOSED）」と表示されます。

※この時、ホームページ上には「次回は○曜日、○時から営業します」という案内が自動で計算されて優しく表示されます。

ここだけ注意！表示が「ー」（エラー）になったら

お時間を入力するときに、全角文字（例：11：00 や 11時）で入力すると、機械が時間を読めなくなってしまう、表示が消えて「ー」になってしまいます。必ずスマートフォンの英語入力モードなどで「11:00」のように半角で入力してください。

2. スープ完売や急な休みのとき（Override の設定）

普段の営業時間に関係なく、今すぐ手動でホームページの表示を切り替えたいときに使う、お店を守るための緊急機能です。

Mode（現在のモード切り替え）

以下の3つからポチッと選ぶだけで、一瞬で看板が切り替わります。

- **Auto（通常）**：普段はこちら。上記で入れた営業時間に合わせて、自動で看板が切り替わります。
- **+Open（強制営業）**：営業時間外だけど、イベント等で特別にお店を開けているときに選びます（緑色のOPENになります）。
- **+Busy（強制満席・完売）**：営業時間内だけど、「スープが完売した」「貸切営業になった」というときに選びます（赤い看板に切り替わります）。

Note（お客さまへの一言メッセージ）

Modeを「+Busy」にしたときなどに、ここに理由を入力すると、ホームページの看板の下にその文字がリアルタイムで表示されます。

（例）スープ完売のため、昼の部終了しました！と入れると、そのままお客さまの画面に映ります。

※何も書かずに空欄にしておくと、自動的に「次の営業は〇時から」という案内時計が代わりに表示されます。

3. 看板のデザイン・見た目（Look & More の設定）

お店の雰囲気に合わせて、文字や色を調整するメニューです。基本的には最初に一度セットすれば、その後触る必要はありません。

- **Title（タイトル）**：お店の名前（例：らーめん〇〇家）を入力します。文字の大きさや色もここで変更されます。
- **T-o ~ T-f（看板の文字）**：看板に表示される英語（OPENなど）を、営業中や準備中、完売終了のように自由な日本語に書き換えることができます。
- **C-o ~ C-f（看板の色）**：営業中のランプの色などを、パレットから好きな色に選べます。
- **indicatorAnimate（ランプの点滅）**：スイッチをONにすると、営業中を表す緑のドットの周りが電波のように「ピコピコ」と優しく波打ちます。「今、本当に営業しているよ！」というライブ感をお客さまに伝えられます。
- **showLiveClock（時計の表示）**：ONにすると、カードの一番下に現在の時間がリアルタイムで表示されます。お客さまに「古い情報ではなく、今現在の営業状況なんだ」という安心感を持ってもらうための機能です。